

一般貨物自動車運送業におけるクレーンを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	10～ 11	鉄筋を搬送、搬送先従業員がクレーンで鉄筋を降ろす為の玉掛け作業を終え、安全な場所に移動中、指示がないにもかかわらず天井クレーンが動いたことから、危険を感じて慌てて荷台から飛び降りた際、体勢を崩し着地し、左手を着き怪我をした。	50 ～ 29	10 ～ 29
2	15～16	4.8t吊り橋型クレーン落成検査に使用したウエイトを搬出するため、橋型クレーンを使用しトラックに積み込む作業中に、クレーンオペレーターが誤って別のボタンを押したため、クレーンが横行し、荷が振れ、クレーンサドルと吊り荷の間に被災者の両足が挟まれ被災した。	38	1～ 9
2	14～15	被災者は、角型鋼管をトレーラーに積み込みのため出荷倉庫にて、クレーン担当者と打ち合わせを実施後、荷台上へのぼった。クレーンで吊り上げた角型鋼管（10m）が運ばれてきたが、荷台に対して斜めだったので、平行になる様に荷台前部（吊荷前端）で時計回りに旋回させた。吊荷旋回を荷台平行時で止めるため、荷台後部（吊荷後端）へ移動しかけたが、旋回速度が速く、間に合わなくなり、途中で受け止めようとした。被災者は、吊荷旋回を止め切れず、荷に押されて荷台（1.46m）より転落し、右手親指と左肩を強打した。	57 ～ 29	10 ～ 29
3	8～9	鉄筋の荷卸し作業をしているときにクレーンで荷を吊り上げたら荷ぶれが起こり、荷に押される格好で荷台から転落した。	52 ～ 29	10 ～ 29
		工場内で荷物を積み込み中、2台の天井クレーンで荷物を合い吊りして荷台に降ろしている時に荷台の右サイドのサイドスタクション（荷物がくずれないように止める		30

4	8～9	立ちん棒)に降りて来た荷物が当たりそうになり、はずそうとしてクレーンの運転手に止まるよう声をかけた。その時、吊り具が曲がり荷物がしなり、スタンションと荷物に右手一指し指が挟まれて負傷した。	52	～ 49
5	17～ 18	当社A棟オープンヤードにて、クレーンで丸棒鋼材を集約する作業中に、枠内に入ってクレーンのフックにワイヤーを掛け、丸棒鋼材を吊り上げ、枠上に右足が残ったままでクレーンを操作した。その際、クレーンのボタンを押し間違えて丸棒鋼材が自分の方に動き、右足が丸棒鋼材と枠に挟まれた。	48	100 ～ 299
5	18～ 19	現場にて、門型クレーンを使いトラックの荷台から重さ68kgの大型ファン(690mm×920mm×H1160mm)を降ろす作業を行っていた際、クレーンを作動させた社員が地切り(一度地面に吊り荷をつけてバランスを確認する作業)を怠った為、リモコン作業で持ち上げた際に吊り荷が振れ、傍でサポートしていた作業者の胸部に当たり、胸骨を骨折した。	41	10 ～ 29
6	14～ 15	7番積込建屋にて、アルミコイルを、吊り具で荷台最後部に3コイル目を積込した。積込担当者が吊り具を抜き取りしたところ、吊り具が揺れて、コイルのコバ面と接触しそうになった為、側にいた積込立会者が揺れを止めようとして咄嗟に手を出し、コイルコバ面と吊り具先端の間で右手小指を挟まれた。	34	100 ～ 299
6	8～9	工業敷地内で、トラックからクレーンで鉄パイプの束を下ろしていた時、操作していた人と下ろすタイミングが合わず、鉄パイプを支えていた手を挟んだ。	47	1～ 9
7	8～9	会社作業場にて、トラックの荷台上で鋼材の荷卸し作業を行っているときに、ホイストで吊っていたコラムが荷台上に置いてあったH鋼に当たり、倒れたH鋼が右足に当たり負傷した。	69	10 ～ 29
7	11～ 12	トレーラーに乗務し、積荷(棒鋼)の配送先(被災場所と同じ)に到着後、指定場所に停車し、門型クレーン(2.8t)による荷降ろし作業中、荷台上で運転手(被災者)が棒鋼束を玉掛けした。巻き上げ後、車両後方に移動(横行)していたクレーンが倒れて、荷台上にいた運転手が、倒れたクレーンと荷台に挟まれ、腰部を負傷した。	50	10 ～ 29
7	14～ 15	鋼材の積み込み中、鉄骨に指が挟まった。	24	1～ 9

10	11～ 12	コンテナと荷台を接続するビンが何らかの理由でロックされたままコンテナを引き上げるクレーンに車体ごと吊り上げられ途中で落下。そのはずみで車外に投げ出され頭部及び腰部を強打したもの。	50 ～ 56 ～ 99
11	14～ 15	10tコンテナ箱（高さ160cm）を地上に降ろして、天井クレーンで廃棄物入りのフレコンバックの積み込み作業中、コンテナの前方縁部分（幅10cm）に上がり廃棄物の誘導をしていた時、フレコンバックが重さで大きく揺らぎ、身体に接触し、コンテナ箱の上部より落下した。	30 ～ 40 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html